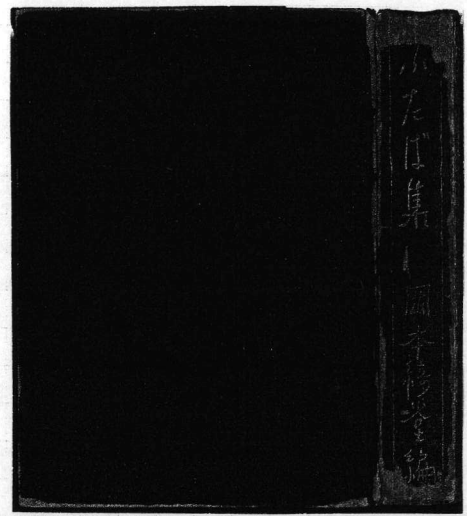


額田公福 おとふち 劇作家、小説家。明治二十二年十月一日岡山縣生れ、
 昭和二十二年十二月二十一日歿（一九〇一—一九四一）。本名公福。おとふち 大正九年
 早稻田大學文學部英文科卒。岡本綺堂門。昭和十四年雜誌『舞臺』主
 宰。

著書、脚本『おとふち集』（合著、岡本綺堂編・大正九年十月二十日、
 第二卷一嫩會同人編・十年十月十五日、
 日、第四卷一岡本綺堂編・十二年四月
 月）『白鷺英閣』第六集一同・昭和
 二十二年十月十五日武藏野書院）、『帝
 劇女優劇七月上演脚本集』（藤田章
 文助合著・大淵閣編輯局編、大正十
 年七月一日下出書店「戯曲全書」）、



『冬木心中』（大正十二年六月）『十五白春秋社「現代名脚本選集」』、
 『天一坊』（大正十五年二月十五日春秋社「現代名脚本選集」）、『諸
 國捕物帳』（昭和七年五月十五日春陽堂「日本小説文庫」）、『大
 楠公』（昭和十年六月二十五日安藤堂刊、日本藝道聯盟發賣）、『建
 武報國記』（昭和十七年五月十五日古明地書店）、『忠魂塔一勤勞青
 年劇脚本集』（昭和十七年十二月十五日國民社）、『新女性文化・教
 養篇』（合著・中田秀夫編、昭和十八年一月二十日國民社）、『川中
 島』（昭和十八年八月二十日三邦出版社「歴史小説
 選書」）、『おとふち若手白』（合著・栗本研編、昭和
 十八年八月二十日東京講演會出版社）、『兒童の
 塔』（昭和二十一年十一月十五日愛育社「愛育文



庫」)、可「板繪御紙一文」二挿物帳・第「集」(昭和二十二年六月一日)
十日京都・平安書房)、可「没者文」三挿物帳「竹流と黄金」二十冊』(昭和二十
二年二月五日樂浪書店)、兒章類「世界の花」(昭和二十二年九月二
十日世界社)、可「戯曲の作り方」(昭和二十四年一月一日ドレタマ社
「ドレタマ・シリイダ」)、可「日本芝居物語」(岡本綺堂氏著、昭和二十
四年八月十日富山房)、可「額田七福戯曲集」(渡草ゆき子編、昭和
四十四年一月二十一日青雉房)等。